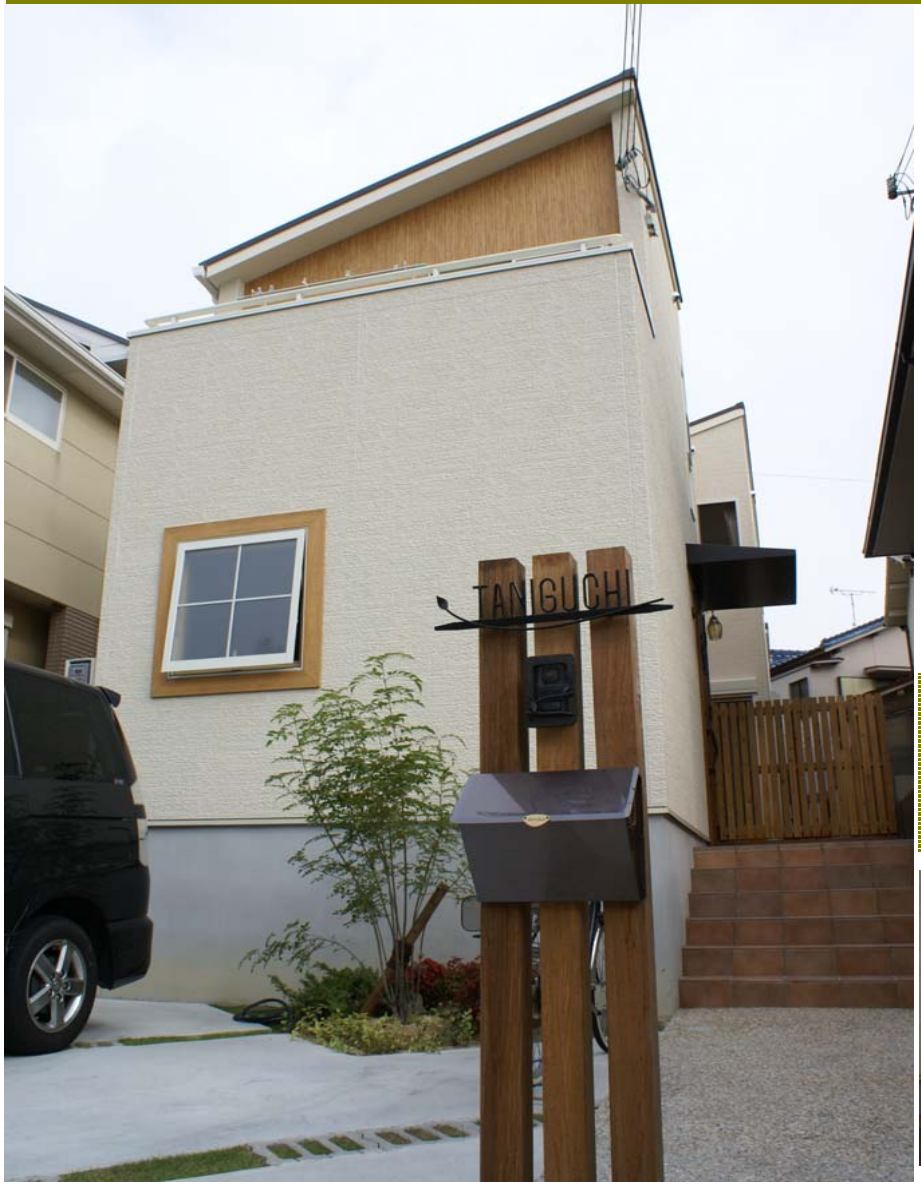
No. 34

くびれのある家
～細長い敷地に建つ～



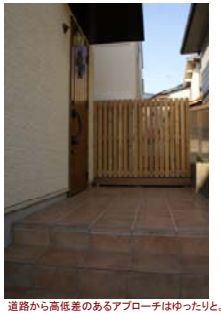
KATSUMI DESIGN AWARD

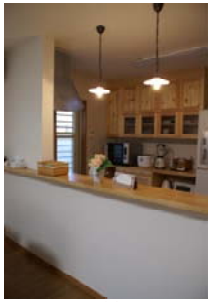
子供の遊び空間となっている中庭スペース

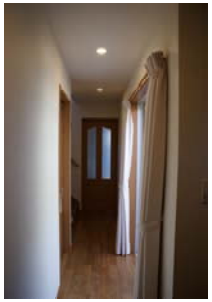
リビングに中庭からやわらかい光がはいります。

ダイニングスペースにも小窓をつけて開放的に。

リビングは居心地の良い空間です。


道路から高低差のあるアプローチはゆったりと。


食器棚もこだわりのデザインで。


洗面室前の廊下も明るく開放的。

主寝室は勾配天井で落ち着いたスペース。

敷地の細長い敷地に建つこの住宅は、第一種低層住宅専用地域・第一種高度地域・駐車義務1台という厳しい条件のもと計画しました。

まず建物の真ん中にくびれをつくろうと考え、そこから光と風を取り入れています。

また、デッキをつくりリビングとつながることで、細長い空間にも一体感がでるようにしました。目地しの高さは全てレーアプローチと敷地との境界に配慮しています。

ウッドデッキと同様し木デッ・内装はクロル材を使用しました。

実際に完成すると、風がよく通り抜ける効果的なスペースでした。

食器棚は、パイン材とチェッカーガラスを使用したアンティーク調の家具です。経年変化でパイン材の色が変わることを考慮し、家事コーナーのカウンターは少し濃い目の色にしています。

道路斜面は道路との高低差によってさまざまに異なり、２Ｆのプライベートスペースはそれぞれ別にアクセスして一つ一つの住まいを楽しめるようにしています。

ボリュームはとてもシンプルな箱ですが、内装材からカーテン・家具のイメージまでコーディネートすることで各部のイメージをやわらかい印象の家になったと思います。